



第21回 常民文化研究講座

二神島調査と神奈川大学日本常民文化研究所

二神島

その歴史と民俗を訪ねて

■ 調査報告

二神島調査の経緯と新たな歴史発見

中世二神氏と二神島

二神種章の歴史意識—「水軍の記憶」を編む—

二神島の墓石と供養

和船と洋式船—二神島豊田造船所の記録から—

田上 繁 (日本常民文化研究所所長)

前田禎彦 (日本常民文化研究所所員)

関口博巨 (日本常民文化研究所客員研究員)

萬井良大 (日本常民文化研究所客員研究員)

昆 政明 (日本常民文化研究所所員)

■ パネルディスカッション：二神島調査の意義と展望

石野弥栄 (愛媛大学非常勤講師)

二神英臣 (二神系譜研究会事務局長)

豊田 涉 (二神系譜研究会常任理事)

司会 / 津田良樹 (日本常民文化研究所客員研究員)



二神島泊集落を眼下に
忽那諸島を遠望する。



2017年 12月 9日 (土) 13:00-17:30
(受付開始 12:30より)

会場 / 松山市立子規記念博物館 4階講堂

(〒790-0857 愛媛県松山市道後公園 1-30 Tel. 089-931-5566)

JR松山駅より市内電車にて道後温泉駅または道後公園前駅 下車徒歩5分 (所要約20分)

松山空港より道後温泉行きバスにて (所要約35分)

子規記念博物館公式サイト http://sikhaku.lesp.co.jp/site_info/access.php

事前申し込み不要

当日は直接会場にお越し下さい。

参加
無料

主催：神奈川大学日本常民文化研究所

特別協力：二神系譜研究会

後援：愛媛県教育委員会 / 愛媛新聞社 / 松山市 / 松山市教育委員会

二神島調査と神奈川大学日本常民文化研究所

二神島

その歴史と民俗を訪ねて

開催趣旨

二神島は愛媛県・忽那諸島に属する小さな島です。1972年には国際的な地理雑誌「ナショナル・ジオグラフィック」5月号に、「日本の村に暮らす」と題して26ページにもわたって紹介されたこともあります。

そのような二神島において、神奈川大学日本常民文化研究所が長年にわたって進めてきた歴史・民俗調査の成果報告書が、現在次々と刊行されつつあります。

本講座は、そのエッセンスを地元松山の方々に知っていただくために松山市で開催することにいたしました。調査の経緯を振り返り、その成果を紹介するとともに、長年の現地調査でご協力下さった方々にも加わっていただき、現在の地域調査が抱える問題点や可能性についても話し合ってください。



講師プロフィール

- 田上 繁**：1947年福岡県北九州市生まれ。神奈川大学経済学部教授、日本常民文化研究所所長。専門は日本近世史。編著に『二神司朗家文書目録』1～4、『島の写真帖 二神島写真資料集』1～3、論文に「瀬戸内海二神家の近世的対応に関する試論」（『論集瀬戸内海の歴史民俗』）等がある。
- 前田禎彦**：1962年富山県生まれ。神奈川大学外国語学部教授、日本常民文化研究所所員。専門は日本古代史。編著に『二神司朗家文書 中世文書・系図編』、論文に「古代の裁判と秩序」（『岩波講座 日本歴史』5）等がある。
- 関口博巨**：1960年埼玉県生まれ。日本常民文化研究所客員研究員。専門は日本近世史。著書に『＜江戸＞の人と身分 第2巻 村の身分と由緒』（共著）、『近世の開発と環境』（共著）、論文に「伊予二神島の近世—瀬戸内海における「島村」の形成」（『論集瀬戸内海の歴史民俗』）等がある。
- 萬井良大**：1972年愛媛県松山市生まれ。日本常民文化研究所客員研究員、NHKカルチャースクール（松山教室）「古文書解説」講師。専門は日本中世史。論文に「中世二神氏の様相」（『論集瀬戸内海の歴史民俗』）等がある。
- 昆 政明**：1950年青森県十和田市生まれ。青森県立郷土館に勤務、その後神奈川大学外国語学部教授、日本常民文化研究所所員。専門は民俗学・船舶史。論文に「船絵馬に見る弁才船の帆走」（『歴史と民俗』32）、「櫓・櫂の操作と絵画表現」（『“モノ”語り—民具・物質文化からみる人類文化』）等がある。
- 石野弥栄**：1944年愛媛県南宇和郡愛南町生まれ。愛媛県歴史文化博物館学芸課長、愛媛県立湯築城資料館館長、愛媛大学・東雲女子大学非常勤講師を歴任。現在愛媛大学非常勤講師。専門は日本中世史、特に四国地域の中世史を研究。『中世河野氏権力の形成と展開』等著書・論文多数。
- 二神英臣**：1946年愛媛県松山市生まれ。国鉄四国支社（41年間）のち、愛媛労働局（5年間）に勤務。2009年より8年間愛媛県文化財保護指導員を務める。2000年二神系譜研究会設立に参画し、以来事務局長を務める。
- 豊田 渉**：1953年愛媛県二神島生まれ。愛媛県立松山工業高校を卒業後、島にUターンし中島町役場（当時）に入庁、自分の島・地域を知るためには他の島を見なければという思いで、愛媛県離島青年協議会や全国離島青年会議等に参加。1976年5月から8年間「島の新聞よもぎ」を発行する等、島の歴史・文化などの調査も手がける。2000年3月の二神系譜研究会立ち上げに参画し常任理事を務める。

お問い合わせ

神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

TEL：045-481-5661 内線4358 Fax：045-413-4151

メール：jomin-kouza21@kanagawa-u.ac.jp